

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

### 研究課題名

『低侵襲弁膜症手術と従来型弁膜症手術における術後早期身体機能の比較』

研究機関名 東邦大学医療センター 大森病院

研究責任者 リハビリテーション科 職位・氏名 理学療法士 岩波 裕治

### 【研究の目的】

本研究の目的は、低侵襲心臓手術（Minimally Invasive Cardiac Surgery : MICS）後のリハビリテーション治療の経過および術前後の身体機能の変化について、従来の正中切開による弁膜症手術と比較検討することです。術後の身体機能の低下は、フレイルやサルコペニアの発症に関わる重要な因子です。手術後の身体機能の変化を把握することは重要な意義があります。

### 【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大森病院) 倫理委員会の承認を得て実施するものです。対象者は、2018年4月1日～2023年3月31日に東邦大学医療センター大森病院心臓血管外科で胸骨正中切開、もしくは低侵襲心臓手術での単独弁置換術または単独弁形成術を受けた方となります。

方法：診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

年齢、性別、Body Mass Index(BMI)、病歴、手術内容、身体機能、画像所見、血液検査、等

### 【外部への試料・情報の提供】

外部への資料・情報提供はありません。

### 【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター 大森病院 リハビリテーション科

研究代表医師：大国生幸 役職：准教授

### 【個人情報について】

研究に利用する情報は、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 リハビリテーション科

職位・氏名 理学療法士 岩波 裕治

電話 03-3762-4151